

第33回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：相同組換え修復能の評価による発がんリスクとPARP阻害剤感受性の予測

2021年

11月17日 水 18:00-19:00

講師紹介：千葉 奈津子先生

東北大学加齢医学研究所腫瘍生物学分野 教授

座長：岡崎康司（難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター）

司会：新井正美（難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター）

概要：相同組換え(Homologous recombination: HR)は、DNA二本鎖切断修復経路の1つである。その活性低下は発がんリスクを上昇させ、HRで機能するBRCA1/2の生殖細胞系列変異は遺伝性乳がん・卵巣がん症候群を引き起こす。一方、HR活性が低下した細胞は、Poly [ADP-ribose] polymerase 1 (PARP1)阻害剤に高感受性を示す。我々はHR活性の新規測定法として、Assay for site-specific HR activity: ASHRA)を開発した。ASHRAは、HR活性を正確に定量的に測定することが可能で、その測定値はPARP阻害剤の感受性と著しく相関した。本セミナーでは、ASHRAの詳細とともに、ASHRAにより明らかになったPARP阻害剤の新たな耐性機序、今後の応用について紹介したい。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。
※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/qLrwhbXFchbQmR8U9>

LIVE配信 (Zoom) にて開催

11月16日 (火) 17時締切



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

新井/原田 (内線71407/5167)

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

